

えぐちーず

(部内資料)

連絡先 日本共産党区議団控室 世田谷区世田谷 4-21-27 区役所第2庁舎内

Tel 5432-2791 fax3412-7480 メール eguchi@jcp-setagaya.jp



フェイスブックしています

ホームページ <http://egucheese.net/link>

2016年5月23日

5月19日、里吉ゆみ都議と中里光夫区議、江口じゅん子区議は、熊本地震の被災地を日帰りで調査しました。以下、訪問の概要をご報告します。



●午前中は庁舎が大損壊した宇土市へ・・・ 世田谷区も「業務継続計画」見直しを

1965年に完成した宇土市役所本庁舎は、今回の2度の地震により大損壊したことで、(右写真参照)報道では被災者支援など行政業務の遅れ・混乱等が生じているとのことでした。

世田谷区役所は、築約50年と老朽化しています。耐震工事は済んでいますが、国交省の拠点庁舎に必要とされる耐震指標を下回っており、議会や区民の方からも大地震が来たらどうなるのか等問題が指摘されています。

支援・復興の中核を担う本庁舎が地震により機能できないことがあってはならないと考え、宇土市の実態を調査してきました。



↑大損壊した宇土市役所

●宇土市の危機管理課長から話を伺う

宇土市の本庁舎機能は現在市民体育館にて業務が行われ、体育館の中をいくつも仕切り、役所の様々な課が入っていました。

市の危機管理課長からお話を聞くことができました。(以下内容)

- 限られた財政の中、まず学校などの耐震工事を行い、市役所建て替えについて検討真っ最中に大地震に襲われ
- 市役所のデータはクラウド化してあった。

教訓として、業務継続書を作成しておくこと、本庁舎に変わる代替施設を準備し、通常業務を続けられる機能を整備する必要がある

「業務継続計画(BPC)」とは、事前に大規模災害に備え、庁舎の代替施設や職員体制などを決めておく計画のことです。区には2010年に作られた「世田谷区業務継続計画〈震災編〉」がありますが、それ以降の見直しはされていません。

今回の調査を受けて区議団は、来月の区議会で区を質し、提案を行っていきます。



↑共産党熊本市議団に義援金を渡しました

医療的ケアを持つ子どもたちの家族会の区長への要望行動に同席しました

20日は、医療的ケアを抱える子ども達の家族会である「姫と王子の医ケアの会」の区長要請があり、同席させて頂きました。



↑区長への要請行動の様子

小児救命医療が進み、重い病気やしょう害をお持ちのお子さんの命が救われる一方で、地域に受け皿がないまま、病院のNICUを退院しています。

それ以後主に母親が、24時間休む間もなく看護に追われる生活であり、医療的ケアを持つお子さんたちは制度の狭間にあり、十分な支援を受けることができないのが実態です。

私も昨年の区議会決算特別委員会で、ご家族様の要請を受け、この問題を質問をしました。今回は、当事者のご家族が「自分達の声や要望を区長に直接届けたい」と要請が行われました。NHKの取材も入り、ご家族からは区長への切実な要請が行われました。

経堂駅で岸 たいし衆院予定候補里吉都議と宣伝を行いました

21日土曜日は岸たいし衆院予定候補、里吉ゆみ都議、地元で活動している青年代表の森田さんそして江口区議で宣伝を行いました。(右写真参照)

地域からもたくさんの方がビラ配りなどに参加してくださいました。ありがとうございました。



5月の朝の駅頭宣伝予定（再掲）
時間は7：40～8：40です

5月26日 経堂駅交番側

30日 祖師ヶ谷大蔵駅

